1967
3 月 号
No. 160
編集兼発行
鮫川村役場
総 務 課
塙町 佐藤印刷所

広報 さめがわ

3月の人口と世帯
人口 7.364 (+6)
男 3.661 (+8)
女 3.703 (−2)
世帯数1.234( )

新入学児の交通事故防止

こどもの交通事故は近年増加の傾向をしめしています。ことに、これからは、交通量が一そう増加してきますし初めて親の手許をはなれて小学校に通う子どもをもつ家庭では、交通教育には、とくに力を入れていただきたいものです。

△家庭での生きた教育を
話して聞かせるだけでなく街の中で、あるいはバスの中で、実際に何回もくり返して交通ルールの知識を身につけさせることです。

具体的には次のことを指導して下さい。

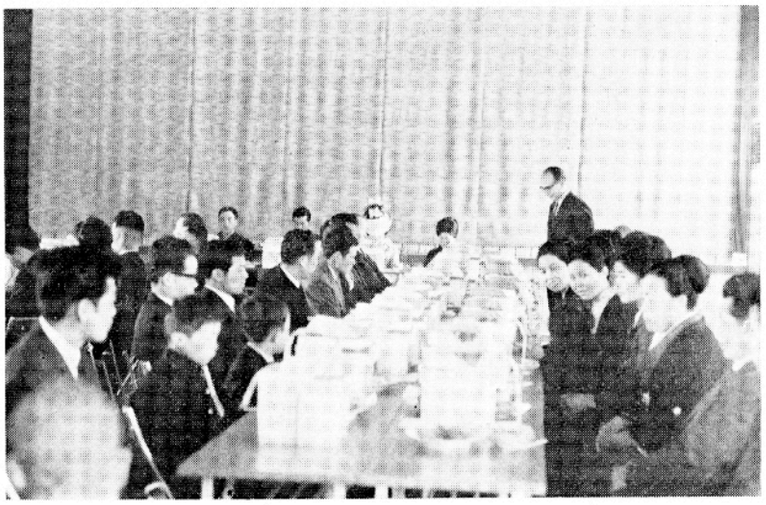
一、通学道路での指導
(一) 道路、交通の状況
(二) 危険個所はどこか
(三) 幅広い道路の安全な横断のしかた
(四) 信号機や横断歩道など交通安全施設の正しい利用のしかた
(五) 自動車のスピードに対する判断を身につけさせる
(六) 踏切りの渡り方
(七) 集団での歩き方

二、学校から帰つてからの指導
(一) お使いに出すときは、必ず交通安全について指導する。
(二) 遊び場所は安全な場所を指定する。
(三) 自転車は、まず安全な乗り方を訓練してから与える。

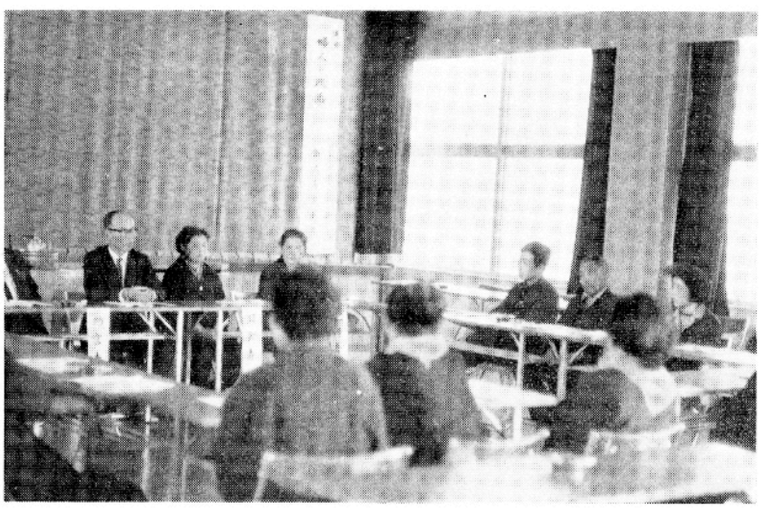
三、車を運転する方に注意してもらいたいこと。
(一) こどもをみたら赤信号と考え、必ず徐行する。
(二) 学校などの近くの交叉点や曲り角では、こどもの飛び出しにとくに注意する。
(三) 大丈夫だろう、よけてくれるだろうという安易な考えで運転しない。







新しい公民館で結婚式が既に3組行なわれました。日本間で挙式、広間で披露宴が開かれ、村長の祝福をうける新夫婦の晴れ姿。



4月の地方選挙を前にして、明るく正しい選挙を推進しようと、村の選管では婦人と青年を対象に、研修と座談の会を開きました。

国保の被保険者証が新しくなります

保険給付の適正を期するため、国保の被保険者証は、毎年検認か更新をすることになつております。

今年は、四月一日に更新しますので、三月末日頃、新らしい被保険者証を、組長さんを通じて、古い被保険者証と交換にお渡しすることになります。

新しい被保険者証は、お渡しする日現在の家族が記載されておりますが、四月一日現在の家族数に変更（転入、転出、出生、死亡等）がありましたら、保険係に申し出て下さい。

古い被保険者証は四月一日より使えなくなりますから、特別交付（旅行その他の理由で又修学のため他の市町村に居所を有し、別個の被保険者証の交付を受けている者）を受けている者も、古い被保険者証を返して、新しい被保険者証を受けて下さい。

なお、本村では四月一日から、満一才未満の乳児の診療費は無料としましたので、お知らせします。

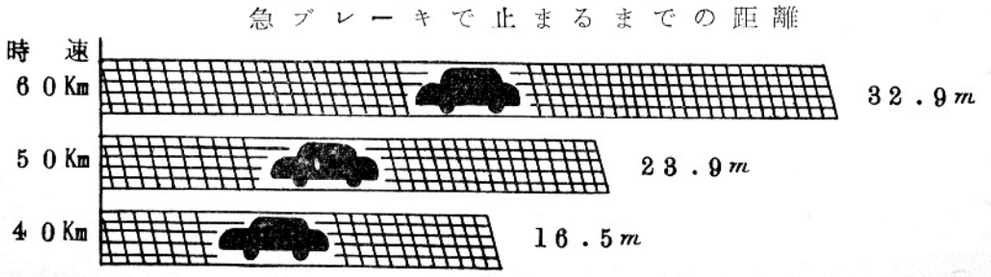
世帯主 及び 乳児を除く家族は、前と同じく七割給付です。

☒

☒

酒のみ運転の行政処分

○ 酒のみ運転は八十日の運転停止
○ 物損事故を起こすと、九十日以上の停止
○ 人身事故を起こすと免許取消し



公民館結婚第一号

新しい公民館で行なわれた結婚式の第一号は、新郎中川西元義さん、新婦根本孝子さんで、媒酌人は岸波竹雄さんでした。式は大楽館長の式辞新夫婦の誓いのことばなどで荘重に行なわれ、披露宴は大広間を使用し、石田村長の祝福のことばがあり、にぎやかにお二人の前途をお祝いしました。



こんなことに注意したい
新入生のお父さん、お母さんに

もうすぐ入学されるお子さんをお持ちの家庭では、喜びに胸をふくらませて入学式をお待ちのことでしょう。

さて入学の準備としてどのようなことをすればよいか考えてみましょう。入学というとランドセルとか学用品の準備がまず頭に浮びます。このような物の準備ももちろんたいせつですが、それ以上に必要な事は、からだや心の準備です。就学の時期は、子どもによい習慣をつけるよいチャンスでもあるのです。

◎集団生活になれること

お友だちとよく遊ばせ、誰とでも仲良く遊べる子どもにしておきましょう。大人相手やひとりでばかり遊んでいる子供はとかく社会性に欠けています。また、家庭で不用意に「そんなことをすると学校の先生に叱られますよ。」とか「先生にいいつけますよ」ということばを口走ったりしないように注意しましょう。学校は楽しい所で、先生はやさしくお世話をしてくださる方として安心感を持たせることがたいせつです。

◎健康上の注意

入学しますと急激に生活が変わり、子どもは相当疲れますので、なにより学校生活にたえる体力をつけておくことが必要です。予防注射、結核診断はもちろん、虫歯、トラコーマなど悪いところは治しておきましょう。

◎しつけておきたい事

(1)身のまわりの始末ができるように。

自分のことは自分でできるようにしつけておきましょう。自分の着物の脱ぎ着がひとりでできる。ひとりで用便ができる。食事の前に手洗いをするというような基本的な生活習慣が身についていなければなりません。

(2)ことばのしつけ

自分の名前や住所がいえること。名前をよばれたら「ハイ」とはっきり返事が出来るようにしつけておきましょう。幼児語しか使えない子には正しいことばを教えましょう。自分の思っていることをはっきりいえるように、お話しの訓練も大事なことです。

(3)生活を規則正しく

学校に入っていきなり規則正しい生活になれさせることは無理です。起床、就寝、食事、おやつなどの時刻をきめて、規則正しく生活する習慣をつけておきたいものです。

(4)交通訓練

交通事故の多い近ごろのことですから、通学コースにはとくに注意が必要です。もっとも安全な道路を選び、いつもその道を通るようにきめておきましょう。交通規則を教え、安全に通学できる練習をしましょう。

◎服装と持ち物

発育ざかりの子どもにきゅうくつな服装をさせることは感心しません。軽くて脱ぎ着のらくな、運動しやすいものを着せましょう。高価なものより汚れても洗えるような材質のものがよいでしょう。靴は革靴でなくズックにした方が洗うこともできて便利です。

持ち物として最近はぜいたくなものも出まわっていますが、ランドセルなどは、体裁よりもじょうぶで軽いことがたいせつです。鉛筆は、軟かくて書き易いB程のものが適当です。また持ち物には全部名前をつけておきましょう。

さいごに、勉強しておく必要があるかということですが自分の名前の読み書きはできるように、といわれています。書けなければせめてよむことはできるように。

子どもの発育程度をみながら、興味を持つて知りたがるものには、教えてやればよろしいでしょう。

選管事務局 公民館内に

四月は最も身近で大切な地方選挙が行なわれます。

選挙事務量も多く、このため三月十三日から四月三十日まで、選管事務局は公民館内図書室で勤務しておりますからお知らせします。

◎四月十五日執行予定の県議会議員選挙告示は三月三十一日の予定です。告示になると同時に不在者投票もできますから、選挙当日自ら投票所に行き投票できない見込の人は不在者投票をされるよう願います。

◎また四月二十一日には村議会議員及び長の選挙の告示になり、同月二十八日が投票日となります。この告示の日から投票日までの期間内についても不在者投票が出来ますので棄権しないよう正しい一票を投票しましょう。

不在者投票事由の内容等については、その都度事務局におたずね下さい。

物品寄附のお知らせ

渡瀬老人クラブより、このほど次の物品を渡瀬小中学校に寄附がありましたのでお知らせします。

一、雑布　一〇二枚
一、竹箒　二七本

老人クラブの皆様ありがとうございました。

（鮫川村教育委員会）

自衛官募集中

昭和四十二年度第一次自衛官（二士）募集中です。

希望者は役場総務課におたずね下さい。

お知らせ (44)

昭和四十二年度予算の展望

村長　石田卯子八

昭和四十二年度の村の当初予算案は一〇、七%にすぎません。

一番大きいのが地方交付税の七、五七〇余万円で、歳入総額の五四・一%を占め、国家財源に依存する割合は依然として高いわけです。

起債は一、四八〇万円を計上していますが、そのうち辺地対策事業債、減税補てん債が六三〇万円あるので、将来の元利償還については、国庫財源を見込めることになります。

歳出では、いつも教育費が大きな比率を占め、三、四四三万余円、総予算の二四・六%に当ります。

この年度で新しく計画されているのは、鮫小戸草分校舎の新築費、スクールバス購入費などですが、この分校は上級学年児童が、本校へバス通学になり、分校舎は低学年児童を収容する規模に新築される計画です。

なお学校給食センターの規模を拡張して、村内全児童生徒の完全給食ができる施設とし、配食用自動車も購入される見込みです。

農林水産業費は二二・四%で、三、一三三万余円が計上されています。

この中には産業基盤整備のための、農林道の開発が予定され、塙町と共同で行なう青生野開拓道が新規計上され、林道は既定計画による五線のほか、石井草線を新に計画路線に入れてあります。

第一次農業構造改善事業は補完事業だけとなりましたが林業構造改善事業とともに、第二次農構も指定をうけたい考えです。

民生費では、児童福祉施設として、保育所の設置費が計上され、消防費では、小型動力ポンプの搭載自動車二台が計画されています。

土木費の中で、辺地対策事業としての道路改良事業は継続され、労働費の中には新しいクラッシャーの購入費が計上してあります。

近年国県市町村を通じて人件費の増高は、なやみのたねですが、総務費では職員現給主義を貫くこととし、努めて増高をさける方針をとりました。

特別会計では、国民健康保険で、乳児十割給付を実施し乳幼児対策のひとつとする計画です。

全体を通じて、健全財政の方針を堅持しながら、増大する行政需要に応えるための各種建設事業を可能な限り盛ることに努めた次第であります。

議会だより

昭和四十二年度予算成立!!
第四回議会定例会から…

予算村議会といわれる三月の定例議会は三月十一日に招集され、六日間の会期をとり慎重に審議した結果いずれも原案のとおり可決されました。会議日程は次のとおり。

第一日＝①会期の決定　②会議録署名議員の指名　③諸般の報告　④議案第九号　昭和四十二年度鮫川村一般会計予算。　議案第十号　昭和四十二年度鮫川村国民健康保険特別会計予算　議案第十一号　福島県旧市町村職員恩給組合資産管理組合規約の一部を改正する規約　議案第十二号　昭和四十一年度鮫川村一般会計補正予算　議案第十三号　昭和四十一年度鮫川村国民健康保険特別会計補正予算　議案第十四号　鮫川村国民健康保険条例の一部を改正する条例　議案第十五号　寄附受納の件（育英資金百万円）一括上程　⑤提案理由の説明。

第二日＝日曜のため休会

第三日＝議案調査のため休会（各常任委員会開催）

第四日＝議案調査のため休会（各常任委員会開催）

第五日＝①質疑　②討論　③採決

第六日＝①一般質問　②議員提出議案第一号　明るく正しい選挙の実現に関する決議。（これは、動議として議員から提案され、日程の一部を変更して上程、原案のとおり可決されました。）

昭和四十二年度の一般会計の予算総額は、一億四千万円で四十一年度当初予算より二千万円多く意欲的な予算編成であり、その内容は希望のもてる施策の計画が盛られております。予算のあらましについては、財政公表として別に公表されますが、先ず住民の要望であった保育所設置、教育施設の整備（戸草分校）産業経済の振興対策、環境衛生対策、福祉対策、社会教育の充実等が重点施策となっています。

（なお、会期中に全員協議会を開き、一月一日から三月十一日までに受付けた陳情書七件のことについて、村長をまじえ、協議した結果、可能な限り陳情の趣旨にそうよう善処することになりました）

◉ 世論に応え、選挙の粛正を図れ!!

鮫川村議会では、選挙粛正の必要性を痛感し、次のとおり決議案を万場一致で可決しました。皆様の御協力をお願いする次第であります。

明るく正しい選挙の実現に関する決議

本村議会は総意をもって、明るく正しい選挙の実現に努力する。

右決議する。

昭和四十二年三月十六日

東白川郡鮫川村議会

（議会事務局）



うるわしき山なみ

村の育英資金に
一〇〇万円の寄附

わが郷土が生んだ唯一人の芸術家、鈴木春詩画伯は秋の日展にも堂々と入選されました。

先生の画風は近年更に重厚荘重の気品を加えて中央の画だんに巨歩を占めておられることは限りなきよろこびであり、また村の誇りでもあります。

画伯は多年の念願としてこの山なみ青き鮫川に生まれ、少年時代の胸に深く刻みこまれた、ふるさとの山々そして清流鮫川の発源する山峡の四季を百景に描き、広く村民に紹介するとともに、ながく後生に残し、また協賛された貴重な代金は、村民の子弟のために役立つよう育英資金として寄附したいと決意されました。

このふるさとの山川と、村人によせられる熱意に動かされて数名の有志が発起人となり、去る昭和三十九年十二月に準備会を開き、画伯の企画に全面的に協力しようと、二十数名の世話人と事務局が設けられ、石田村長を会長とする鮫川百景の会が組織されました。そして広くは村内の篤志の方々に御協力をいただき昭和四十年村の文化祭に第一回絵画の頒布会があり、また新らしき歴史をつくる公民館のすがすがしい館内に、去る二月十日見事百数十点のふるさとの美景が陳列され、全会員参会のなか、テレビ放送局各新聞社等も来て、盛大に頒布会が行なわれました。

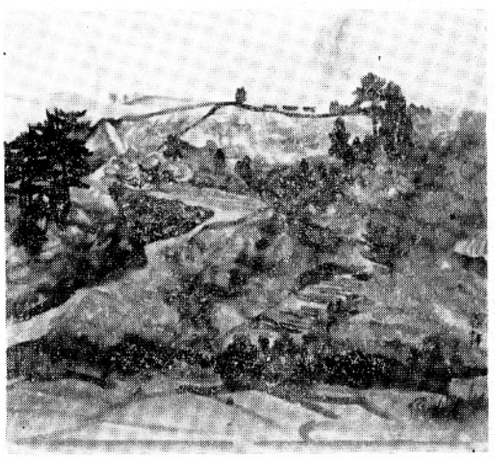
この作品は二年がかりで制作され、画伯は東京から現場写生のため来村されること十数回に及びました。いかに労作であったかが伺われます。

頒布終了後に、画伯から村を愛する皆様の温い真心によりまして心ゆくまで村の姿を描くことが出来たことの御礼と、鮫川村育英資金として金百万円を寄附する旨の連絡が会長である石田村長のもとに伝えられ、既に現金も村の金融機関にはいりました。

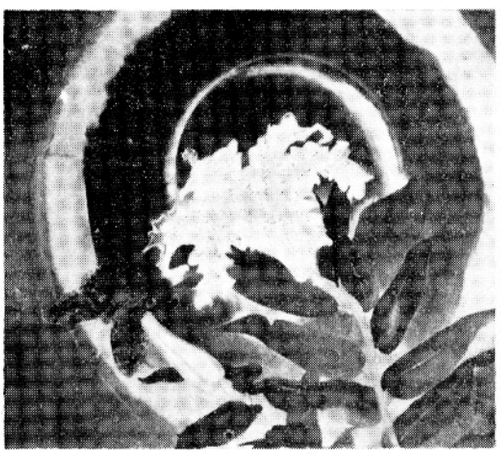
村では正式に三月定例村議会に提案して議決を求め、育英資金の運営については教育委員会で立案を進めることになりました。

この企画についていろいろな面で御協力をいただいた村民の皆様に厚くお礼を申し上げます。

（鮫川百景の会事務局）



だんの岡遠望（いしだ坂の村雨）



名花白ゆり（日食に舞う）

まちどおしい給食

戸草分校二年　鈴木和男

きゅうしょくは、まい日まい日うまいなあ。あんなうまいものを　くわずにはいられない。ぼくは　きゅうしょくの車が　来るとはらがぺこぺこになってくる。

きょうはやさいサラダかなあと思うと、はやくおひるになるといいなあと、先生のかおをみながらたいそうをしていた。

ボールをぽかんとあたまにあてられてしまった。ぼくはいたかったが、じぶんでよそみをしていたのだから「いたい」といえなかった。

いよいよたいそうの時間がおわったので、ぼくは手とかおをザブザブとおいそぎであらってせきについてしまった。

きょうは四組が　きゅうしょくとうばんなのですこしおそかった。はやくしたらいいだろうと思ったが、ぼくはだまってまっていた。いよいよぜんぶにきゅうしょくが　わたってから「いただきます」と、いってたべはじめた。

はじめの一口がとてもうまくて、ほっぺたがすこしいたかった。金夫くんは　いつもおいしいきゅうしょくなのでおかづをさきたべて、みんなにわらわれたり、ちゅういされたりします。

ぼくは、先生におしえてもらったとおりたべています。みんなのかおをみると、きゅうしょくをたべるのにむちゅうです。ぼくは　はらいっぱいたべてバンドをゆるめながらあんまりうまいので、もっとたべたいと思つた。

新入学おめでとう

昭和四十二年度入学者名簿

鮫川村
教育委員会

四月四日に村内の各小学校に入学されるお子さん方をお知らせします。

もし名前が違っていたり、もれている方がありましたら教育委員会事務局に連絡して下さい。カッコ内は保護者名です。

入学前の心得は別に掲載しましたので良く読んで、お子さんが元気に登校されるよう準備して下さい。

◇　◇

◎青生野小学校

穴沢　康浩（卓　二）
堀川　子吉（広　二）
新妻　好幸（卓　夫）
瀬谷　義明（政　義）
中島　孝雄（三　次）
星　　朗（俊　一）
門馬　広洋（ウメ）
笹島美智子（留　吉）
石塚富士子（寛　）
佐藤　絹枝（勇　）
矢吹　浩子（由　栄）
星　　文子（弘　）
平久江昭子（三　郎）
大森　道子（愛　保）
高坂　幸子（政　男）
緑川　昌良（八　雄）

◎渡瀬小学校

高久美智男（和　雄）
藤田　生幸（辰　男）
芳賀　　満（弘　）
青砥　忠広（貞　己）
蛭田　好也（洋　二）
芳賀　裕伊（昇一郎）
芳賀ひろ子（福　雄）
下重佐知子（正　佳）
藤田あい子（栄　）
遠藤　利子（光　利）
小松　順子（幸　次）
芳賀すみ子（寛　一）
遠藤　里子（盛　也）
下重　幸江（金　治）

◎富田小学校

小島　満（明　男）
岸波富寿雄（竹　雄）
坂本　幸雄（義　利）
岡部　正行（義　恵）
松本　克男（克　己）
鈴木　清（作　栄）
小川　幸子（久之助）
船木実千枝（正　衛）
栗原　厚子（一　郎）

◎西野小学校

高坂　正男（正　光）
矢吹　守（栄　治）
矢吹　正（喜太郎）
石井　朋也（利　雄）
佐藤　義雄（秀　雄）
石井　勝（勝　男）
霜田　昭彦（ヨ　シ）
白坂　昭彦（貞　男）
鈴木　善康（好　美）
霜田　則夫（芳　美）
舟木　孝一（芳　男）
増子　孝（義　兄）
藤田　端朗（一　夫）
高坂　君子（武　明）
上田　恵子（佳　一）
緑川まさ子（多気志）
北条　順子（恵　三）
石井　安子（清市郎）
高坂みさ子（喜　政）
増子　弘子（久　美）
石井　幸子（　久　）
江田　文子（庄　市）
田子智恵子（金　夫）
高坂　典子（久　男）
藤田　重子（英　昌）

◎西山小学校

坂本　浩（ユキイ）
松崎　達雄（甲子男）
関根　茂（忠　雄）
関根　三男（美　明）
阿久津栄二（一　一）
関根　完治（正　治）
関根　洋一（登　）
本郷　稔・（栄　治）
水戸　道夫（　啓　）
松本　裕（庄　市）
大竹　良（清　一）
関根　元美（一　兄）
鈴木　正孝（　勲　）
関根　徳子（金　二）
江原　育子（靖　男）
水野　浩子（ユ　キ）
阿久津幸子（正　男）
矢吹　光子（広　信）
水野　京子（茂　男）
水野　厚子（弘　幸）
生田目のり子（保　男）
関根　洋子（　通　）
関根えさ子（乙　夫）
松崎のり子（清　次）
関根真智子（正　照）
高野　仁子（偉　一）
根本　洋子（　伝　）

◎鮫川小学校

五十嵐　清（伝　美）
矢吹　仁（幸　一）
管野　寿彦（寿　雄）
渡辺　浩佳（　朗　）
小松　源浩（源　方）
渡部　市郎（寅　蔵）
金沢　　明（　守　）
増山　和男（　高　）
田子　　栄（勉　一）
鈴木　孝徳（幸　雄）
金沢伊佐美（利　雄）
中川西吉光（吉　正）
円井　浩明（栄　一）
鈴木　守弘（辰　男）
長久保貞二（佐多男）
塩田　昭（昭　一）
高木　洋一（市　郎）
緑川　浩幸（清　幸）
中川西富吉（富士雄）
水野　和美（正　広）
阿久津　進（正　生）
生方　靖史（利　夫）
青戸　友芳（芳　夫）
高野　睦（幸　雄）
須藤　功（泰　助）
蛭田　孝志（ハ　ル）
蛭田　浩（四　一）
中川西博文（　博　）
山本せつ子（勝　治）
円井百合子（幸　男）
高木　春枝（好　勝）
矢吹　玲子（義　照）
宗田　義幸（　稔　）
藤田　早苗（隆千代）
宗田美智子（悦　次）
国島　初代（武　士）
味原ゆう子（伊佐美）
近藤　清美（清　次）
前田　一実（守　保）
市村三津子（一　郎）
中川西利子（重　好）
鈴木美紀子（一　良）
円井　孝子（彦兵衛）
金沢　明美（正　男）
高木美貴子（勝　美）
斉藤　栄子（　近　）
湯座　啓実（啓　巨）
中川西キミエ（一　郎）
湯座　誓子（　勤　）

◎戸草分校

松崎　行夫（昭　義）
佐藤　昭人（長　司）
芳賀キイ子（留一郎）
溝井ひろ子（昭　三）
芳賀みちい（　武　）
諸橋　文子（覚　知）
芳賀ゆみ子（万　治）
芳賀百合子（一　男）

◎東野分校

森　栄樹（一　一）
小原　広幸（　広　）
有賀　浩二（岩　男）
森　高範（重　寿）
渡辺　正三（幸太郎）
吉田美樹子（芳　光）
森　トミ子（　啓　）
森　妃登美（　守　）
中川西美幸（喜　八）
生田目豊子（清　治）



鮫川郵便局 提供

◎転居したときの郵便利用

毎年三月、四月に勤め人は人事の異動等、学生、生徒は学校を卒業し進学や就職のため、住所を移動する人が多くなります。

当人はもとより、関係の方々の郵便利用についても次のことに注意して、迷い子郵便物の防止にご協力願います。

1転居届は必ず旧住所の郵便局へ転居した場合、知人や友人などに転居通知を出すことはエチケットです。

これと同時に旧住所の配達受持郵便局へも転居届を出して下さい。

転居届（通知）が出されていれば、郵便局では一年間転居先へ郵便物を転送することになっています。

しかし、転居届が出ていないと、差出人に返送されることになっています。

郵便局では、この転居届の便宜をはかるため、郵便局の窓口のほか、市区町村役場にも依頼して転出入手続きの窓口にも転居届の用紙を備えていますので、これを利用して下さい。

なお転居届を出された場合でも一年間を経過すると転送されなくなるので、できるだけ早く主な通信先へ住所の変更を知らせることがたいせつです。

2同居人あての郵便には肩書きを

アパート、下宿、間借り、同居の方が郵便を出す場合には、自分の住所を書くときにアパート名（○○荘）、同居先または下宿先の世帯主の氏名（○○方）等の肩書きを必ず書いて下さい。

また、差出人もこれらの方々にあてる郵便には必ず肩書きを忘れないよう注意して下さい。

◎新しい社会にスタート おめでとうございます。

学窓とも別れ、今月から、いよいよ社会人の仲間入り、ひとり立ちのビジネスマン、オフイスマンとしての心得、それは、きたるべき日に備えての貯蓄プラン。

◇出し入れ自由な財布がわりの……通常貯金……

◇毎月きがるにかけられる二年満期の……積立貯金……

◇半年ごとに利子を生む……定額貯金……

〃初サラリーで初貯金〃 さあ胸をはってスタートしましょう!!

郵便貯金は、いつでもあなたのおいでをお待ちしております。

◎お便りには便せんも、封筒もいらない郵便書簡をご利用ください。　〒一五円

おめでた

二月
田野上　敏（一　）
道少田　鈴木　新吾（一　）
青生野　生田目　操（忠之助）
前田　金沢千代子（豊　）
道少田　栗木　浩子（正　喜）
前沼　青戸　秀樹（文　雄）
木坂　藤田　忠紀（一　夫）
前田　金沢　洋子（　守　）
三月
西野沢　河野美江子（　弘　）
舳長　北条　和子（正　敏）
荻野沢　江田三喜夫（一　夫）

おくやみ

二月
火打石　佐藤　文枝0（幸男）
辺栗　生田目音治86（長治）
青生野　沢口　茂53（三治）
三月
赤柴　関根　タマ78（武　）